

金星

No. 5
発行

神戸市須磨区横尾9丁目
5番1号
TEL 741-1501(代)
啓明女学院内
金星会

今こそ生きる啓明教育



同窓会の皆様、お元気でいらっしゃいますか。日頃は「金星会」の運営、活動に深い御理解と御支援を賜わり誠に有難うございます。同窓会報「金星」No.4発行以来三年の月日が流れましたが、ここにNo.5を貴女の御手元にお届け出来る事を嬉しく思います。久しぶりに懐かしい母校のニュースに接して、ひとときあの啓明の良き少女時代に返って下さいませ。我が啓明女学院も来年は創立七十周年を迎え躍進めざまいものがあります。本年は中高生徒数合わせて一八五二名となり、須磨は横尾の清澄な空気と山の緑に囲まれた明るくモダンで清楚な校舎で、建学の精神に基づいた伝統あるキリスト教教育と英語に堪能な国際婦人の育成がなされております。

さて同窓会といたしましては、七十周年記念に「金星会々員名簿」を十年振り発行する準備を進めておりますので、会員の皆様の積極的な御協力を切にお願ひ申し上げます。これを機に、全会員の住所・氏名(旧姓)・電話番号がコンピュータに入力され、住所変更等はご通知次第即時訂正されます。今後益々新旧同窓生が相互に堅い絆で強く結ばれ、そしてあなたが母校と同窓会の発展に力を添え下さることを祈って止みません。それでは十一月七日の総会でお逢い出来るのを楽しみにしております。

同窓会会長 渡邊 カナコ

こうして世に送り出された姉妹達、即ち金星会々員数も一万二千三百余名に達し、それぞれの場で神のみ心に添って活躍していらっしゃいます。世は正に混迷の時代に入り、人々の心は揺れ動いております。物資は豊かに溢れる一方で精神面の貧しさが指摘され常識では考えられない非人間的な犯罪も激増しております。このような時代なればこそ、神の存在とその無限無償の愛を教える啓明の無形の精神教育が重要かつ必要であり求めらるべきものであります。

啓明の卒業生達が、今後も「愛」と「誠」でもって世の光となり、その名「金星」の如く輝き光の輪となって広がり、より良い日本、世界にしていく為の



窓の外を

眺めながら



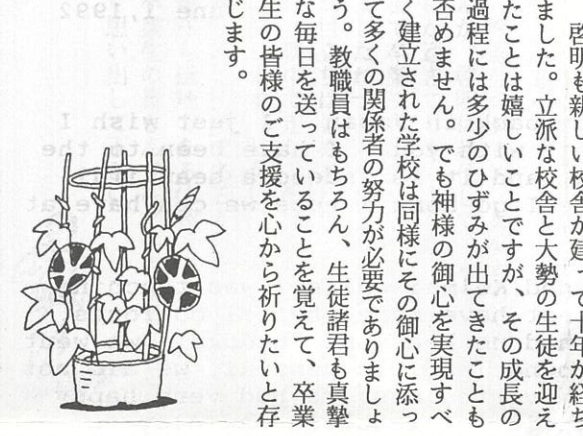
理事長 今井 鎮雄

今年の天気はずいぶん不順で、桜の開花予想も例年より早いと思つたのにその後は妙に寒かったりしましたが、それでも庭の草花はそれぞれに花を咲かせ、木々は若葉や濃い緑を取り混ぜて美しい初夏を演出してくれました。私はいつもこの頃になると神様がこの世界をお作りになったのだなとしみじみと感じます。生き物に勢いがあり、それぞれに独自の道を歩んでいるように見えて、それはまた見事に調和した時を見せてくれるからです。

世界が大きな変化の中にあり、アメリカがロスアンゼルスでの暴動の中で悩んでいることを見せると、タイでは民衆の声のなかで首相が退陣に追い込まれるなど、東欧や旧ソ連圏以外でも民族や部族の主張が顔を出し始めました。それは環境問題とともに世界が解決せねばならぬ新たな人間としての問題でありました。

そしてそれらの問題も大きな神の御手の中にあることを信じながら、その御心に沿ってそれぞれに解決に努力しなければならぬのでしよう。

啓明も新しい校舎が建て十年が経ちました。立派な校舎と大勢の生徒を迎えたことは嬉しいことですが、その成長の過程には多少のひずみが出てきたことも否めません。でも神様の御心を実現すべく建立された学校は同様にその御心に添って多くの関係者の努力が必要でありましよう。教職員はもちろん、生徒諸君も真摯な毎日を送っていることを覚えて、卒業生の皆様のご支援を心から祈りたいと存じます。



Alumnae News

Keimei - Spring 1992

This spring we are painting and repairing the whole school. It will cost 160 million yen. We are in the tenth year at this campus. No longer is this the "new" campus. I think we might simply call this the "Suma campus".

During the past fifteen years Keimei students have changed. They are generally doing better in school than fifteen years ago. We always had very good students but students once able to pass Keimei's entrance exams are now often eliminated before entering Keimei. In other words, about thirty percent of those who passed our entrance examination fifteen years ago would now be unable to enter Keimei. Our minimum entrance standards have gone up.

With the decline in student enrollments throughout Japan, Keimei will have fewer new students every year. I hope we can keep our current standards while our enrollment drops. That is our aim.

More important: we continue to have a happy school with bright students. The look of Keimei remains a smiling face.

Mone Saito



啓明——一九九二年春

この春、校舎全体の塗装と修理を行っています。費用は約一億六千万円かかります。この校舎に移転してから、今年で十年目になります。もう「新」校舎ではないでしょう。私は、単に「須磨校舎」と呼ぶのではなく、啓明の生徒達は変わりました。全体的に見れば、以前よりよく勉強しているようです。もちろん、昔から、たいへん優秀な生徒達が多かったです。合格していたような人が、今では事前に断られるようになっていきます。言いかえ

れば、十五年前に入試に合格していた人の約三十パーセントが、もし現在なら、入学できないような状態なのです。私達の入試最低基準は、上がっています。全国的な生徒減少期に入って、啓明も年々生徒数が減ってくると思われまます。私は、たとえ生徒数が減少しても、現在の基準を維持したいと望んでいます。それが私達の目標です。

しかし、もっと重要なことがあります。明るかな生徒達と、明るく楽しい学校づくりを続けていくことです。啓明の顔は、常にほほえんでいる顔であり続けたいのです。

平成4年度「金星会総会」ご案内

平成4年度総会を下記のごとく開催いたします。懐かしい恩師を囲み、新旧同窓生相集い、楽しい秋のひとときを過ごしましょう。皆様お誘い合わせの上、多数ご参加下さいませ。

記

日	時	平成4年11月7日(土)	1:30~4:00 P.M.
場	所	新神戸オリエンタルホテル	(078) 291-1121
会	費	8,000円	
プログラム		昼食懇親会・報告事項・アトラクション・福引き	
申し込み方法		別紙参照お願い致します。	

啓明女学院学院祭

日時・9月19日(土) 9~3時
場所・啓明女学院

同窓会はケーキと紅茶の喫茶店を開いています。(3階)
ぜひ同窓会のお店に来て下さい。

尚、当日、同窓生の出店を募集しています。衣料品、アクセサリー等、出店を御希望の方は、九月十日迄に、左記へ御連絡下さい。
渡邊(078)241-1208
高瀬(078)741-1767



創立70周年記念 金星会名簿 今すぐ予約御願い!

主な編集内容

- B5判、上製本、約280ページ
- 写真頁(カラーを含む)
- 学院沿革/金星会会則/金星会役員名簿/都道府県別在住者数一覧
- 旧職員、現職員名簿

平成5年9月完成

価格 4,000円(送料込み)

● 予約方法 同封込込票でご送金下さい。

御要望に添えて「母校創立70周年記念版金星会会員名簿」を発行することになりました。目下鋭意準備中で、全員の住所の確認をしながら、住所不明者の追跡調査を行いつつあります。住所不明者は全員の45%にもなり、皆様の御協力を切にお願い致します。出来るだけ正確な名簿を作成したいと望んでおります。

今回より全卒業生の、**回生・住所・氏名**がコンピュータに永久入力され、住所変更の御通知あり次第、即時訂正されます。いつでも、啓明女学院同窓会宛に住所変更をハガキ又は電話で御一報下さいませ。

さて名簿発行にいたる迄、数回の追跡調査費、印刷代等膨大な経費がかかります。会員の皆様は御予約下さいませ。多数お買い上げいただかなくては多額の赤字となり又折角の名簿発行が無駄になります。

同窓生の皆様、是非「金星会名簿」の御予約をお願い致します。予約なしでのお買い上げは出来ませんので御了承下さいませ。

どうぞよろしく御願い申し上げます。



(ドライバー先生と共に)

昨年九月に六回生後田さんより、ドライバー先生が福岡女学院で教鞭をとられるため来日されたこと聞き、すぐにも飛んで行ってお目に掛かりたい思いに駆られました。

早速、卒業生に連絡致しましたところ、皆様も私と同じ思いの様で、四回生から十一回生の方達三十八人が、十一月三十日神戸北野の六甲荘に集まって下さいました。

又、吉田(旧姓丸上)先生もお忙しい中、御出席して下さい、ドライバー先生も丸上先生も昔とちっとも変わっておられず、会場は四十年前にタイムスリップした様に啓明時代に戻っておいりました。懐かしい思い出話が、次から次へと出てまいり、その中でも一番印象に残ったのは、何人かの方より「神様のお導きにより」という言葉が度々出てまいり、先生のご教育は英語だけで無く、信仰への導きが大きかったのではないかと、新たに感謝の気持ち一杯です。

私達と同じ様に福岡女学院の方々も、ドライバー先生より素晴らしい教育を受けられる事を祈っております。

お忙しい中御出席して下さい下さった皆様有り難うございました。

ドライバー先生を囲んで

六回生 鈴木八重子

June 1, 1992

Dear Keimei Alumnae,

I am indeed happy to be back in Japan. I just wish I had more opportunity to visit with you. I have been to the new site for Keimei in Suma, and it is indeed a beautiful new school building. Before I go home I hope we can have at time together there.

Those of you who attended Keimei while I was teaching there will remember we did not have many physical comforts. Even on the coldest day we had no heat, at "undokai" we went to the public school playground, and, in general, we did not have many of the niceties, nevertheless, we had very happy days. I have wonderful memories of teaching and playing: times in the classroom, the YWCA, worship services in the Chapel and early morning times at Suwayama, hikes up the mountain and fun times at camp. I even remember some of the essays you wrote.

I'll be returning to my home on August 4 and coming back to Japan on September 11. I enjoyed immensely the luncheon with some of you last November, and I hope we can have time together before I return home in the fall of 1993.

Sincerely,

Georgeanna Driver

啓明同窓会の皆様へ

日本に再び戻って来られて、私は大へん幸せです。もっと皆さんに会える機会があれば良いのに、と思っております。須磨の新しい校舎ですね。私が帰国する前にそこへ皆様とお会い出来たらいいなと思っております。

私が啓明で教えていた頃の生徒達は、いろいろな事を我慢していました。大へん寒い日もストーブはありませんでした。運動会は小学校のグラウンドを借りて行いました。その頃はあまり良い設備などありませんでした。私達は楽しい日々を過ごしていました。教室やYWCAで過した時間、チャペルの礼拝、諏訪山での早朝礼拝、山登りや、キャンプでの楽しいひと時等、今も素晴らしい思い出として残っています。又皆さんが書いていた作文の内容もいくつか、今もまだ覚えて

私は八月五日に一度帰国して、九月十一日に日本に戻って来ます。昨年十一月に開いて下さった昼食会はとても楽しいものでした。私は一九九三年の秋には帰国してしましますが、その前にぜひ皆様とお会いしたいと思っております。

ジョージアナ ドライバー

金星会役員 (平成四年四月現在)

会長 渡邊 カナコ(5回生)

副会長 高瀬 佳子(7回生)

会計 兵庫 麗子(6回生)

書記 小林 訓子(10回生)

澤田 佐紀子(13回生)

国宝 郁子(24回生)

毛内 庸鼓(4回生)

中村 倭文子(4回生)

長年に亘り、会計、書記をして下さった美野隆子さん(16回生)、波戸岡峰子さん(18回生)が、役員を退かれました。ありがとうございます。

最近三年間の進路状況報告

進路指導部長 船曳 俊也

進学 十八歳人口がピークであったこの三年間(一九九〇、九一年、九二年)は総数においては、一九六六、六七、六八年の団塊の世代に及ばないとしても、進学率の上昇(特に女子は三七%を超えた)という事情もからんで、大学・短大への進学については、かなり厳しい三年間であります。今後は、国際化・情報化をキーワードとして学部・学科の新増設・変更が進む中で、量的な競争から質的な競争へと転換していくことが予測される。また専門技術の修得、即戦力の養成、かが心配材料である。

就職 新規高卒者に対する求人倍率の全国的な伸びの中で、地元各企業の啓明女学院に対する高い信頼度(これは先輩各位の業績によるところです)と相俟って、四〜五倍の求人倍率をいただき、就職線は好調であった。ただ時代のトレンドと片付けられない早期離職の傾向と、経済界の減速による陰りをどの程度受けるかが心配材料である。

最近3年間の進路状況 (3年間の合計数)

大学		短大		専門学校(分野別)	
芦屋	2	藍野学院	2	商業実務分野	180
英知	8	芦屋女子	8	家政分野	35
大手前女子	19	大手前女子	29	工業分野	25
関西学院	4	関西女子学院	16	医療分野	58
甲南女子	3	近大・豊岡	2	教育・社会福祉	54
神戸海星女子	5	甲子園	36	分野	
神戸学院	7	甲南女子	5	文化・教養分野	97
神戸芸術工科	3	神戸海星女子	3	衛生分野	51
神戸女子	7	神戸学院女子	8		
神戸女子学院	3	神戸女子	6	就職(業種別)	
松陰女子学院	4	神戸文化	18	製造業	99
親和女子	6	神戸山手女子	35	卸売・小売業	114
聖和	3	聖和	38	金融・保険業	28
園田学園女子	2	頌栄	2	運輸通信業	23
宝塚造形	4	夙川学院	24	サービス業	91
姫路独協	3	松蔭女子学院	5		
武庫川女子	5	園田学園女子	2		
神戸市立外国語	2	日ノ本学園	20		
甲南	1	姫路学院女子	45		
流通科学	2	兵庫女子	25		
大阪音楽	2	淡川女子	8		
大阪経済法科	2	武庫川女子	3		
大阪学院	4	大阪	1		
大阪芸術	3	池坊	13		
阪南	1	京都	2		
		京都外国語	2		

おなつかしい先生方より一言

(順不同)

教頭 黒川 行信

金星第五号発行おめでとうございませう。私は、三年前、県立神戸高校を定年で退職し、本学院にお世話になりました。私学の経験は初めてですが、明るく素直な生徒たち、熱心な先生方と、すばらしい環境に恵まれており、毎日楽しく古典の授業などをしております。

中国に「井戸の水を飲む者は、井戸を掘った人のことを忘れてはならない」という諺があります。本学院が今日の隆盛を迎えるまでには、先輩の方々の大変なご苦労があったことと思います。私たちが、そのご苦労に感謝しつつ、それが立派に実を結ぶよう、さらに充実した教育を目指して努力してゆかなければならぬと、決意を新たにしております。

先輩の方々が、度々母校をお訪ねくださり、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願いするとともに、金星会のみますの発展をお祈りいたします。

社会科 称津 茂 實

卒業生の皆さん、お変わりありませんか。「先生、私のことを覚えてますか」「先生、少しも変わりません」と卒業生に出会った時、こんなことを言われて、覚えてる人はよいのですが誰だっただか分からない時本当に申し訳なく思い、齢のことを考えると、嬉しいやら可憐いやら複雑な気持ちになり返答に困ります。それでも啓明を懐かしく思う卒業生の気持ちが本心に嬉しくなります。

啓明女学院も川の流れるように、三宮の旧校舎時代六十年、そして現在の須磨の地新校舎に移転してはや十年になろうとしています。啓明の歴史は七十年の伝統に輝き、源流をたどれば数々の社会の先駆けをし、家族的な温かさを持ち、紆余曲折しながら美しき流れ、現在では一八五十名の在校生、伝統ある啓明に評価された大海へと進んでいます。

時代と共に生徒の気質も変わったようですが、見方によっては同じことが、変わったかと思っている私が変わったのかも知れません。ただ今は、流れは早く一

生懸命共に生きる喜びを味わっています。啓明を愛する卒業生の皆さんの御活躍を祈りつつ……また逢う日まで

社会科 藤 本 義 和

啓明に勤めてはや十三年を迎えています。振り返れば、うち八年間も就職を担当し、数多くの生徒を社会に送り出しました。面接などでは厳しい事を言いましたが、卒業生の活躍を耳にした時に、また頑張ろうと心を新たにいたします。これからも多くの生徒が巣立って行きますが、一人ひとりが啓明女学院卒業生としての誇りを持って大いに活躍してくれることを、心より祈っております。

英語科 藤 川 勝 洋

卒業生の皆様、それぞれの場で御活躍のことと思います。私は、啓明女学院に勤めて十年目を迎えました。横尾へ移転後の校舎も十年目を迎え、外壁の塗装工事を受け、これまでの傷みをすっかり新しく手直しされています。人間はこのような訳にはいきませんが、卒業生からの便りや、母校を訪ねてくれた時の元気な顔を見せて頂くと、内から新しくされる思いです。皆さんのお元気な顔や便りを待っています。

保健体育科 齊 藤 唯 元

卒業生の皆様、お変わりありませんか。一九七七年から本校にお世話になってはや十六年目になります。卓球部で一年、ソフトボール部で十三年、昨年よりサッカー部の顧問をお引き受けしております。南北校舎時代の練習場所のない時代から現在の恵まれた練習条件を考えますと、後輩達は本当にしあわせだと思えます。各部とも活発に活躍して、好成績を納めております。先輩方もご支援、ご声援のほどよろしく申し上げます。

国語科 郭 賢 鶴

卒業生の皆さんにおかれましては、いろんな分野で御活躍のことと存じます。

私の啓明生活も、今年で十二年目に突入しました。その間、三度の卒業生を送り出しました。現在の担任が高三で、来春、四度目の卒業生を送ることとなります。月日の経つのは早いものだと、実感しています。初めて担任をしたのが、旧校舎のこと。みなさんお元気でしょうか。その年に結婚して早や十年。一度、この哀れな姿を見て下さい。

国語科 田 村 巨

卒業生の皆様お元気ですか。昭和五十二年に本学院にお世話になり、はや十六年目に入りました。今年度は中学を担当させて頂いております。暑い夏の日の体練、王子での体育会など懐かしく思い出されます。また、夏休みに教師館や教室で行った合宿も良き思い出となっておられることでしょうか。これらの思い出を大切にして下さい。今後のご活躍をお祈りいたしております。

数学科 田 中 聖 憲

三ノ宮の旧校舎から早いもので今年で十六年目を迎えました。校舎移転と共に学校の設備も充実し、学業にまたクラブ活動に頑張っている姿を見ると、さまざまに思いが駆け巡ります。共に汗し共に泣いたバドミントン部との付き合いに特に感極まるものがあります。

卒業生の方と会う機会も増し、そのたびに啓明女学院の教師をして本当によかったと思う時があります。今後とも生徒と共に常に自己変容したいと思っております。

保健体育科 中 野 孝

卒業生の皆さん、お変わりございませんか。啓明に赴任して、もう二十年の月日が過ぎてしまいました。時々、神戸の街で卒業生に出会って、「先生、年とりましたね」と言われるほど頭に白いものが目立ちはじめました。この二十年の間、無我夢中で走り、転び歩んで来たような気がします。しかし、今も赴任当時と変わらぬ気持ちであると思っております。現在も伝統である体練頑張っております。卒業生の皆さん、在学中の頃をなつかしく思い出して下さい。



芸術科 隅 田 郁 子

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。啓明で勤め始めて早いもので十六年になりました。しかし毎年思うことは成長せず、どの年も「今年も全力で取り組もう」という目標で今までやってきました。何かにつまずき、くじけそうになりながらも、又次の年には全力で頑張るばかりです。思い返せば一番大事なことではなかったかと思っております。そして今年も又来年も全力投球です。

退職されている先生

江口 和 夫

私はあの戦争直後から昭和27年3月まで山手の校舎に通いましたが、中一から高三まで各一学期、全校六学級の小じんまりした学校でした。英語の達者な飛田院長のほか先生方は少数でしたが、アメリカ人教師が二人学校の宿舎に住んで会話を教えておられました。文化祭も体育祭もなかなか見ごたえがありました。特に卒業式のあとで歌う「またあう日まで」のメロディで卒業生をおくるまで緊張してすごしたことを懐かしく思い出しております。卒業生の皆さん、心豊かに。

西崎 良 夫

昭和二十四年啓明女学院に勤務する事になり、学院の校風と家族的な教育方針に協力してまいりました。特に行事関係に力を入れてきました。学年遠足・六甲山キャンプ・学芸会・運動会・北海道修学旅行(五回生は都合により中止)等一つ一つ良い思い出となっております。又生徒に「フグ」というあだ名をつけられた「フグ」先生「フグ」先生とよばれなつかしく思っています。今は喜寿になり毎日病院通いをしています。啓明時代の事一生忘れる事はないでしょう。

大西 た つ

紫陽花の花咲く頃となりました。梅雨の時季なのに水無月とはいえないかに、久しく御無沙汰のみお許し下さい。私退職後十四年になります。年齢も満八十八歳の老母になりました。私の娘や孫の年齢の卒業生の方達が毎年グループ別で顔を見せに来て下さいます。いくつになっても学生時代の顔を思い出し可愛いものです。学生時代のイタズラっ子も、今は立派な母親の顔です。皆の話を聞いて大変勉強になります。長生きのおかげと喜んでおります。最後に金星会の皆様方のご活躍をお祈り致します。乱文お許しを。

鳥 居 泰 子

人生の節目にさしかかった今、啓明での思い出は忘れられません。昭和19年9月末繰上卒業となり翌日啓明女学院に奉職しました。家庭的な雰囲気でも素直な明るい生徒達でした。昭和32年4月再び啓明女学院に戻りましたが当時はまだ女性が働くには困難の多い時代で教師、母、妻として全く夢中で頑張っていました。毎朝礼拝で神の御加護を信じ、明るく生きぬく事を学び、この間教職員の方々の御厚情、すばらしい生徒に支えられ感謝にたえません。三年前母校神戸女学院を定年退職し引き続き研修の道歩んでいきます。

西 川 光 子

二人の子供達も各々良き伴侶に恵まれ主人と再び青春もどきの生活をたのしみたいと願っています。年をとりた両親や近隣の高齢の方々の付き合いを通してすぐにやってくる老後の過ごし方を考えさせられています。相変わらず家で英語を教えたり、教会ではオルガニストと婦人会のお役を与えられ、感謝の日々です。目下足ペタルつきオルガンに挑戦中で、敵しいレッスンを打ちのめされながらもパイプオルガンの小曲が少しずつレパートリーに加わってきました。目下姪が啓明ライフをエンジョイしています。

市政で活躍の同窓生

七回生・河上せつ子(旧姓吉村)さんは芦屋市議員(副議長・総務委員)として、十九回生・田村とし子(旧姓清水)さんは神戸市議員(文教経済委員・外郭団体に関する委員会副委員長)として、それぞれ二期目を勤め御活躍中です。市民の為、市の為、国の為、十分に働いて下さることを期待しております。



母校生徒会だより

生徒会係主任 金 谷 一 郎

現在運動部15文化部20同好会、愛好会5が、活動しています。今回いくつかのクラブについて紹介します。(順不同)

体操競技部

神戸市総合体育大会

団体 第二位

個人総合 第二位

サッカー部

第10回兵庫選手権優勝

高等学校女子西日本大会第五位

剣道部

神戸市内高等学校剣道大会

団体三位(県大会出場)

兵庫県高等学校総合体育大会

個人戦ベスト8

陸上部

兵庫陸上競技選手権大会

女子三段跳優勝(近畿大会出場)

兵庫県私立中学校陸上競技大会

四〇〇mリレー三位

軟式テニス部

私学大会団体三位

放送部

第39回NHK杯全国高校放送コンテスト

テレビ番組製作部門：全国大会出場

朗読部門：県大会出場

YWCA部

視覚障害者の為の点字・テープ作成

手作り絵本の作成、各施設へのポラン

ティア活動

バトン部

近畿高等学校総合体育大会マーチング

トワリング部門出場(兵庫県代表)

その他のクラブも各大会に出場し頑張っています。

尚、文化祭に向け準備を進めていますので、卒業生の方も多数御来校下さい。



訃報

同窓会報「金星会」No.11・No.5の題字「金星」の筆者である第一回卒業生、前副理事長勝部美智子氏(旧姓 本田)が、平成元年十一月十九日に急逝なさいました。故人の御遺徳を偲び謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

クラス会 あれこれ

第十一回生の集い

小島三貞子(旧姓 萱原)

平成四年四月五日、桜の美しい季節に、北野町「いろりや」さんで久しぶりにクラス会を行いました。

なつかしい顔が一人又一人と現れ、その都度に歓喜の声が部屋中に広がり、なんとにぎやかな一日だったでしょう。

本日に久しぶりの再会であるにもかかわらず、タイムスリップして、一度に学生時代に逆戻り、なつかしい昔話に花が咲き、子供の事や主人の事は暫し忘れて、楽しいひとときを過ごしました。ただ一つ残念で心残りな事は、ご参加下さる予定でありました大西先生が体調を悪くされ、参加して頂けなかった事です。

食事が終り全員で道に迷いながら、先生のお宅をお訪ねしました。心配していましたが、意外にお元氣そうな御姿にお目にかかり、またまた昔話になり先生の記憶力の良さに再度びっくり致しまして、皆さんと次会の再会を約束して名残惜しくお別れました。



(11回生 クラス会)

第三十三回生クラス会

植木小百合(片山)

三賀 利香(宮本)

戸田 淑子

啓明女学院昭和五十四年度(高2)エークラスの同窓会を平成四年一月二十六日に

神戸の三宮センタープラザ十九階の東天紅にて昼食会もかねて、取り行いました。このクラス会を計画するまでには、名簿作成から始めて随分と時間がかかりましたが、十年ぶりに会う友人たちの高校生時代の顔を思い出しながら準備をしていきました。

当日は日曜日という事もあって、十名ほどの人数しか集まらなかったのですが、結婚されてお子さんがいらしたお母さまにはとても思えないくらい皆さん若々しく、本日に高校生に戻ったかのように楽しい一日を送ることが出来ました。私たちの担任の先生はすでに他界されて、このクラス会にはご出席して頂く事が出来なかった事が、何よりも残念です。

「これを機会に一年に一回はこのようなクラス会を開いて楽しい一日を持とう」という事で帰路につきましました。

第九回生クラス会

河井祥子(旧姓 新井)

二年毎にクラス会を行っている第九回生は、かねてより要望の強かった一泊の計画を、岡部・早川両幹事が中心となつて進めて下さり、静かな会員制ホテルの「ヴィヴィ有馬」で実現となり、楽しい時を過ごし東は埼玉上尾市より、西は島根県隠岐ノ島より十四人が出席した。

学生時代の友は数年間の空間があつても、出会えば一瞬にして時は縮まり、共有の思い出に心充たされる。温泉に浸り心身にリフレッシュし、翌日は念仏寺の樹齢二百五十年の沙羅双樹の花と一弦琴を鑑賞、しばし平家物語の境地に浸り、次回の再会を約束して、初夏の有馬を後にした。



(9回生 クラス会)

同窓生だより

6回生 後田 富久子

(福岡女学院短期大学英語科教授)

人生の収穫期を迎えつつある私が過去の歩みを顧みる時、今日の私を可能にしてくれたものは何かと深く考えることがあります。それは、戦後間もなく中山手にあつた母校に入学し、そこで養われたキリストに根ざす人間教育であつたと信じている他ありません。当時、学問・技能の習得のみならず信仰を確かなものにする事ができ、いつの間にか人生に対する生き方の基盤を形成していったようでした。

現在、私は百余年の歴史と伝統を有する幼稚園から四大までの総合ミッションスクールで、三十年近く用いられていますが、これはまさしく神の測り知れない御業と恩恵にはかならないと思つています。

同じく、キリスト教学校の歴史を担つた母校が21世紀に生きる人々に対して求められる使命と課題を真剣に追及し、若い魂に良い種が蒔かれ豊かな実りへと育まれますよう心から願つております。

10回生 山田 烈子(旧姓 木全)

シャソソを唄うようになった。習い始めて四年だがあちこちの催しに招ばれることが多くなり結構忙しい。曲数も増え、舞台度胸もついてきた。シャソソは若い頃から好きでいつか唄いたいのと心の隅に温めていたが、それが今、陽の目を見たようである。「三分間のドラマ」といわれるシャソソ。自分の人生と重ねながら、愛を、喜びを悲しみをさらに味わい深く唄いたいものと思つて

11回生 菅 利気恵

(日本詩吟学院岳風会兵庫本部 菅千岳)

二十年前から詩吟を習い始め、指導歴は十数年になります。現在、週に三ヶ所教室を持ち、門下の皆さんと楽しく、和気あいあいと練習いたしております。詩吟は漢詩の朗読を通して人格と教養深め、精神力や集中力を養うものです。また、お腹の底から声を出すことによつて体も心もスッキリとし、健康にもよくストレスの発散にもなります。何歳になつても無理なく続けられる趣味ですので興

味をお持ちの方、一度私達の練習を見にいらっしやいませんか。連絡先は(078)641-1617・6174です。

19回生 梅岡 寿美子(旧姓 和田)

大学卒業後すぐに結婚し、専業主婦で二十年が過ぎてしまいました。その間、茶道と琴を、細々と続けてきましたが、長男が大学入学したのを機会に、昨年指導の看板をあげ、おかげ様で少人数ですが、生徒ももてる様になりました。お琴の演奏会ではいつも山本先生にお会いし、昔ながらの直立不動のすがたになつてしまつたり、お茶では高三Gのクラスメイトが五人、月に二度集まってきました。また、在校生の活発な女の子が、毎週お会いにこ来たり、卒業後二十五年にして、啓明がますます身近に感じられる今日この頃です。

39回生 諏訪 美香子

(現在ノースウエスト航空勤務)

初夏の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は現在、航空会社に勤務し、成田空港で様々な国の人を相手に悪戦苦闘している毎日を送っています。シフト制勤務の上、休みもバラバラという生活パターンにも慣れ、入社二年目の「賞祿」もできてきたのではと、自分では思っています。色々な人と接してきて辛いことも多いですが、後で笑い話になるようなハプニングが私の元気の源となっています。そろそろ夏のピークに備え、心身ともに気合を入れなくては、未筆ながら、皆様のご健康とますますのご発展をお祈り致します。

42回生 小林 直子

(特別養護老人ホーム寮母)

啓明を卒業して、三年の月日がたちました。卒業してから二年間は、介護福祉士の資格を得る為に、大阪コミュニティカーク専門学校で勉強しました。今思うと、毎日遊んでばかりいた様な気もしますが、そして、専門学校を卒業して、今は、特別養護老人ホームで寮母として働いています。仕事にも、ようやく慣れてきたところですが、もっと勉強して、がんばっていききたいと思つています。

44回生 藤原 牧子

(聖和短期大学英語科一回生在学中)

啓明を卒業して、はや四ヶ月が過ぎました。新しい学校にも、ようやく慣れ、最初は「イヤだ、イヤだ」と思っていた生活は、この頃では結構楽しんでます。ただ、八時三十分からの授業には、まだまだついていけませんけど。聖和は啓明と似ていて、アットホームな感じが私には気に入っています。今は、いろいろと、忙しいですが、友達も増え、なかなか充実した生活を送っています。

44回生 正木 美穂子

(流通科学大学商学部一回生)

啓明女学院を卒業して早四ヶ月。私は今、大学生活を満喫しています。昨年とは違って、時間に余裕のできた最近、授業や所属しているスキー部の合間をぬって、趣味などに時間を割いたりしています。大学では商学を勉強しています。

いており、高校の頃を思い出す楽しい一時でした。

41回生 松村 聡美

(東京ルーテル神学大学四回生)

卒業後、四年目を迎え、関西を離れての大学生活も最後の年となりました。年齢性別を問わず多くの友達に恵まれ、寮という共同体に身を置くことによつて、新しい自分を発見しております。今後の進路を考える時期となり、迷うことも多い毎日です。カウンスリングの分野に、興味を持ちつつ神学を学んでおりますが、働き場があまり多くないのでとても大変です。そして今一番の心配事は「卒論」です。

43回生 駒居 里香

「19歳の画家達展」を開いて啓明を卒業しては一年。啓明での三年間は、日々凡庸に過ごし先生方にも大変ご迷惑をおかけした事と存じます。

卒業以来、塩谷先生のもとで絵を学び、絵の奥深さを知るにつれ、今まで見えなかった物が見えてくるようになりました。その成果を発表すべく、啓明の卒業生である藤田良子・岩永裕子・藤井美智子と四人でグループ展を開きました。二百人もの人が来て下さり、個展準備の際、多くの人々の助力や親の助けを得、改めて一人では何も出来ないという事を感じ、世の中の厳しさを知りました。

今まで絵というものは、紙に書くだけだと思つていましたが、本当に深く人間の内面を描くものであるという事に気が付いた今日この頃です。そしてこれから絵を描き続け、より良い作品を製作し



(グループ展にて)

金星会への御希望、御意見があれば母校内、金星会宛にどしどしお寄せ下さい。